

施設の現況	点検・補修等の実施状況	維持管理に係る課題
-------	-------------	-----------

■施設数

道路法面 区間数	施設数			
道路防災総点検管理区間(※1)	3,067	施設の区分	施設数	割合
施設整備済み区間	1,986	重力式擁壁、ブロック積 など	1,304	45%
		落石防護柵、落石防護網 など	844	29%
		法枠工、吹付モルタル工、植生工 など	562	19%
		グラウンドアンカー工、地山補強土工 など	190	7%
		合計	2,900	100%
施設のない区間	1,081	—	—	—
その他区間(※2)	調査中	調査中	調査中	調査中

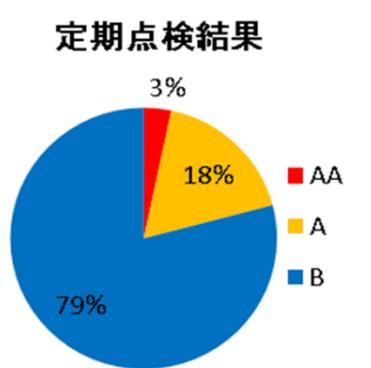
※1 道路防災総点検管理区間:平成8年度に全国一斉に実施した道路のり面点検調査の結果、落石等の危険があり、経過観測や定期的な点検が必要とされた区間

※2 その他区間:道路防災総点検において健全と判断され、定期的な点検を実施していない区間。自然法面や法面工施工済区間等、多数の区間が存在し、現在、調査中。

■最新の定期点検の結果(H21～H25)

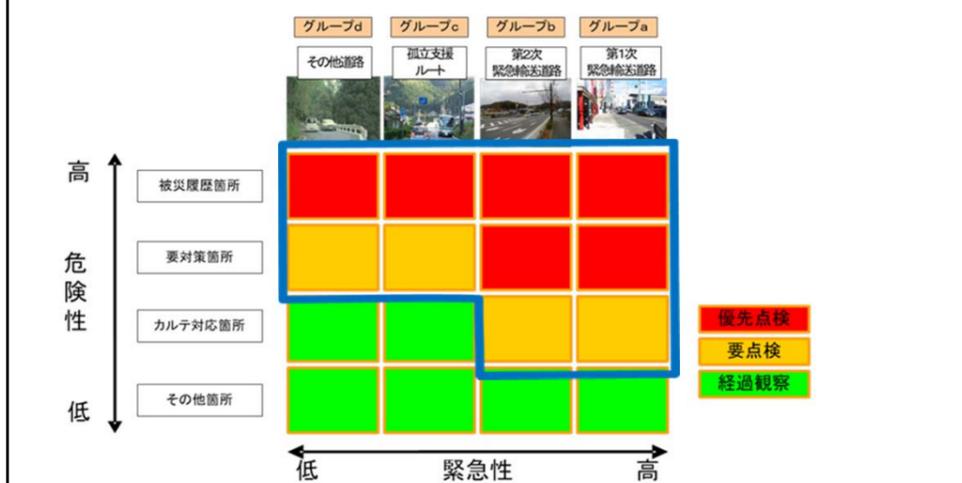
京都府のり面・擁壁点検マニュアルに基づき、道路防災総点検管理区間(3,067区間)のうち、定期点検が必要な区間(1,167区間)を抽出

点検種別	状態	結果(区間)	割合
定期点検	AA	39	3%
	A	205	18%
	B	923	79%
日常点検	—	1,900	—
合計		3,067	



健全度判定区分

状態	健全度の評価
AA	補修・対策の必要あり(補修・対策中)
A	軽微な変状
B	変状なし



■計画

○H17:「京都の道・長寿プラン」策定
・長寿命化、維持管理コストの削減のため、道路施設の維持管理にアセットマネジメントの考え方を導入

○H17:「京都府道路施設維持管理基本計画」策定
・計画的な維持管理を実施するため、施設や地域の特性を考慮した維持管理の方針を策定

○H20:「京都府道路施設維持管理実施計画」策定
劣化予測が困難な施設であるため、定期的な点検により、致命的な損傷となる前に速やかに補修することとし、そのための点検方法や頻度を設定

■点検

○H20:「京都府のり面・擁壁点検マニュアル」策定

- ・点検区間は、道路防災総点検結果及び緊急輸送道路など路線の重要度により優先順位を設定
- ・定期点検は優先順位の高い1,167箇所を抽出して実施、その他は日常点検で対応
- ・日常点検:全区間(1～4回/週)道路パトロールにより主に目視による点検を実施
- ・定期点検:防災カルテを作成し、職員による近接目視を基本とした点検を実施(5年に1回)
- ・詳細点検(委託):職員点検等により変状が確認された箇所の詳細点検を実施(変状・損傷の把握、原因の究明、対策案の検討)
- ・その他、異常気象時などに実施する臨時点検を必要に応じて実施

○実施状況 (区間)

	H21	H22	H23	H24	H25	平均
定期点検(職員)	232	224	206	178	138	196
委託点検	9	0	2	0	189	40

(※)H21及びH23委託点検11区間は、定期点検(職員)区間と重複

■補修等

○定期点検結果の判定区分により緊急性を有するものから優先的に法面対策や施設補修の箇所を選定

○補修等の状況 (箇所、百万円)

	H21	H22	H23	H24	H25	平均
補修等箇所数	59	67	73	88	59	69
補修等費用	点検費	29	0	3	0	13
	法面对策費	1,469	1,208	1,560	1,695	1,303
	補修費	0	95	169	339	281
計	1,498	1,303	1,732	2,034	1,597	1,633

■データベース

○H22: 道路防災総点検区間について、「道路施設管理システム」によるデータベース化

- ・防災カルテ、GIS位置情報、点検履歴、点検データ、補修履歴等をデータベース化し、データ蓄積を実施中

■適切な点検による第三者被害の未然防止

- ・法面は、落石やコンクリートの剥落により大規模な事故につながる可能性があり、きめ細かな点検による現状把握が重要であり、変状が確認された箇所は早期に補修を実施するなど、効率的で確実な点検体制～補修体制の構築が必要。

■全ての道路法面を対象としたメンテナンスサイクルの確立

- ・道路防災総点検において健全と判定され、現在定期点検の対象外となっている施設についても、点検～補修を確実に実施するメンテナンスサイクルの確立が必要。

■長期的なコストの算定

- ・法面施設は劣化予測が困難であり、定期点検や災害等により、突発的な補修費用が必要となる恐れがあり、弾力的な予算措置と長期的なコスト算定が大きな課題。
- ・変状の適切な判定や最適な補修工法の選定等は、施設の老朽化のみならず背面地山の変状もあわせて評価する専門的な技術力の向上が課題。

■京都府のり面・擁壁点検マニュアルの改訂とデータベースの機能強化

- ・京都府のり面・擁壁点検マニュアルの見直しを行い、その他区間の点検方法等を定めることが必要。
- ・適切な補修時期を見極めるため、点検データや補修履歴等の着実な更新と蓄積が必要。

取組の方向性

■のり面・擁壁個別施設計画(京都府道路施設維持管理実施計画の改訂)の策定

- ・道路防災総点検区間以外の区間も含め、路線の重要度や被害発生の影響等に応じた点検方針、対策の優先順位の考え方、対策費用の概算等、個別施設計画を策定し、点検～補修～履歴蓄積のメンテナンスサイクルを構築する。
- ・点検、修繕に係る中長期の投資計画を策定する。

■京都府のり面・擁壁点検マニュアルの改訂

- ・現在、定期点検を実施していない区間についても、定期点検を実施することとし、京都府のり面・擁壁点検マニュアルを改訂する。
- ・日常点検においても、要点検箇所や点検のポイントを周知し、定期点検を補完する体制を構築する。

■データベースシステムの強化

- ・道路施設管理システムを強化し、経年変化による変状等が確実に把握できるよう、点検データや補修履歴を確実に蓄積する。

資料

法面

自然斜面



露岩部の浮き石



斜面中の転石



崩落直後

人工斜面



モルタル吹付のひびわれ、植生侵入



モルタル吹付のひびわれ、浸みだし

擁壁

コンクリート擁壁



コンクリート擁壁のひびわれ



コンクリート擁壁の開口

ブロック積み



ブロック積みの開口



ブロック積みのはらみ出し

落石対策

落石防護



落石防護網内の堆積



落石防護網の破れ

落石防護

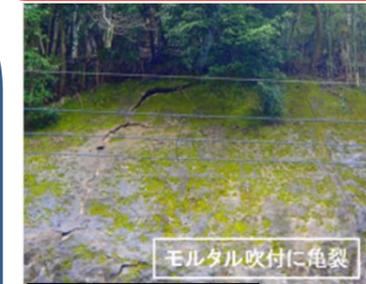


落石防護柵の破損



落石防護柵内の堆積

点検による
第三者被害の防止事例



モルタル吹付に亀裂

H26.4.4: 点検時に発見



H26.5.23: 崩落
事前の土のう設置により、
車両等被害無し

点検による補修事例

補修・対策前



補修・対策後



【吹付モルタル法面の補修】 国道173号 京丹波町八田地内
H25 老朽施設修繕+上部斜面からの落石対策